



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2005.01.20 No. 28 - 18

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274

不法妨害行為に対する民間航空機の防護に関する日乗連ポリシー（案）

VIPS AND ACCREDITED DIPLOMATS & SECURITY OF CREW BAGGAGE

日乗連ポリシー セキュリティー関連(案)の説明 その2

皆さんもご存知のとおり、Aviation Security (AVSEC: 航空保安) をめぐる情勢は、2001年に米国で発生した同時多発テロ以降大きく変わりました。IFALPAでは、9.11事件以降航空機の最高責任者という立場を代表して、ICAOや各国行政機関、IATAや航空機製造メーカーとの会議など、会長自らあるいはSecurity委員会代表が積極的に参加しテロ・ハイジャック防止に取り組んでおります。

一方日本では、私たちもIFALPA Security委員会に積極的に参加しているものの、国内のAVSECに関する運動の構築は遅れております。

日本ではテロ行為というものが、あまりなじみのない事件と考えられがちですが、地下鉄サリン事件などは明らかにテロ行為であり、またハイジャックもその背景は違うものの過去度々発生しております。昨年は、薬物中毒者による羽田空港への車による侵入そして空港内を走りまわる事件も発生しました。

今後の世界情勢を考えれば、国内でテロが発生する可能性は十分あります。SECURITY問題は世界が同一の標準で行われなければ、弱いところが狙われるでしょう。

今後、日乗連・ALPA JapanではSecurity POLICYを提案し、職場レベルでのSecurityの確立を目指していきます。なお、今後提案するPolicyはIFALPA POLICYを日本の職場に合わせて作成されております。

ICAO 4.6 Measures relating to special categories of passengers

ICAO 4.6 特別な種類の旅客に関する対策

IFALPA POLICY

4.6.y VIPS AND ACCREDITED DIPLOMATS

2002 総会採択

IFALPA recommends the addition of the following Standard: "Each Contracting State shall ensure that VIPS and Accredited Diplomats, and their baggage are subject to the same screening procedures as other passengers."

ALPA Japan POLICY 案

4.6.y VIPおよび認定された外交官とその手荷物他は他の旅客と同様の検査方法に従うことを確認すべきである。

趣旨: 現在各航空会社でいわゆるVIPとして取り扱われている旅客そして外交官などの検査は、一部検査が除外されているため、一般旅客と同様の検査が必要と考えられる。



ICAO 4.7 Measures relating to access control

ICAO 4.7 立ち入り制限に関する対策

IFALPA POLICY

4.7.x SECURITY OF CREW BAGGAGE

IFALPA believes that protective security measures should be established to ensure the security of crew members and their baggage. To avoid the possibility of saboteurs smuggling explosives on board the aircraft within the baggage belonging to aircrew these measures should be verified continually and maintained prior to placing such baggage on board the aircraft and whilst that baggage is unsupervised during stopovers. For the purpose of this policy, the duration of protective measures should encompass any time during which crews may be defined as “airline personnel gathered together for the purposes of a flight”, both in the pre- and post-flight phases.

Crew bags should be locked to prevent any kind of interference.

Note. – Crew baggage is often transported unaccompanied.

2004 年総会採択

Crew Baggage should be subject to screening measures which are equivalent to those applied to passenger baggage. Any security screening of crews and their baggage should be performed at a discrete facility separate from passenger screening.

2004 年総会採択

Member Associations should take steps to ensure that the security of crew baggage is verified and maintained prior to placing such baggage on board the aircraft, in accordance with policy contained in the POL-STATs shown above.

1994 年総会決議

2004 年総会再決議

ALPA Japan POLICY 案

4.7.x Crew Baggage

ALPA Japan は、乗務員や乗務員手荷物の Security を確保するために、乗務に携わるすべての間 Security 対策が確立されるべきであると考えます。

テロリストが乗務員手荷物の中に爆発物をしのばせて機内に持ち込ませる危険性がある。そのため Security 対策は、乗務員手荷物が機内に搭載されるまで継続的に実施されるべきである。

乗務員手荷物はいかなる種類の妨害も防ぐために施錠されるべきである。

乗務員および乗務員手荷物は、旅客とは別の施設において乗客手荷物に適用されるのと同様の方法で検査されるべきである。

趣旨：クリーンエリア以外でわれわれの運航カバンやステイ用のカバンに爆発物を仕掛けられる可能性は十分ありえる。特にステイ先のホテルなどではホテルマンの好意でわれわれの目の届かない場所へ荷物を運ぶこと、あるいは一時保管される場合がある。また、これらのカバン類を常時監視しているわけでもない。したがって、乗務前に手荷物検査は必要であるという趣旨である。また、施錠も必要となる。

検査の方法は、現在国際線では旅客と同じ場所で行われているが、乗客と同じ場所で行う手荷物検査では、近くにいる乗客を装った犯人に接触される危険性があるために別の場所で行われる必要がある。